

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

岩 国 市 長 福 田 良 彦

市町村名 (市町村コード)	岩国市 (35208)
地域名 (地域内農業集落名)	府谷地域 (西村、瀬戸、大久保)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月25日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

府谷地域は、錦総合支所から北東に約3kmに位置する山間部です。対象集落には、38世帯、64人が居住し、その内46人が70歳以上という、高齢化地区でもあります。現在、1農事組合法人が認定農業者となり水稻2.5ha、酒造好適米が0.1ha、大豆1.1haを栽培している。組合員は8名で平均年齢71歳であるため、高齢化は避けられない状況である。新規組合員として、退職者の新規加入を期待していたが、定年年齢が65歳と上がったため、定年帰農者の新規加入者もなかなか期待出来ない状況。しかし、地元から農大へ進学した者がいるため、今後の担い手として期待している。また、滞在型農業体験施設も建っており、施設利用者が定住してくれることを期待しているが、なかなか難しい。さらに、地区内で収穫した、米や大豆を使った弁当や味噌づくり等を行う企業組合も営業しているが、調理員の高齢化が課題。各組織が連携して地域を守っている状況。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農事組合法人では、水稻と大豆を生産し、企業組合ふのたに手づくり工房に販売している。ドローンを活用したスマート農業を行い経費削減・作業の効率化を図っていく。今後、自走式草刈り機にも興味がある。地域イベント(ほたる祭り)等を企画し、滞在型農業体験施設の入所の方やイベント参加者と農業体験で交流を図り、地域交流人口を増やしていきたい。新規就農者への地域ぐるみによる支援と、意向に合わせた栽培品目の振興・検討が必要。地域計画の見直しを行いながら農地を守っていく体制づくりを構築していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	22.5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	22.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
自己所有農地を可能な限り管理保全してもらう。農業の継続が困難になった農家の所有地については、集落で調整し担い手に集積する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸付し、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
一部で排水対策や水路の補修等が必要な個所があるため、状態に応じて個別に対策・修繕を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
個人農家・農事組合法人で、今後も地域の農地については地域で守っていくことを基本とする。 いずれ新規就農者が参入すれば、技術支援を地域一体となって取り組んでいく。 グリーンピアやまざと滞在型農業体験施設の利用者と共に行う体験農業やほたる祭り等のイベントを通じて交流人口を増やしていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農事組合法人が水稻栽培について、春作業(荒起・荒搔・代搔・田植え)秋作業(刈脱・乾燥・摺・配送)を受けている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①猿による農業被害が大きいため、地域と行政と猟友会が連携し対策を講じていく。
 ③ドローンを使った予防や防除を行い、作業効率を図る。
 ⑦中山間等直接支払交付金事業の該当農地においては、適切な農地の維持管理を行う。
 ⑧⑩農事組合法人の倉庫や機械を今後も活用していく。
 ⑩交流人口の増加を目指して、農作業体験を開催する。